

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日  
東

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所  
 コード番号 3836 URL <http://www.avantcorp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治 (TEL) 03-6864-0100  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績 (平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	4,194	6.2	400	13.0	396	13.2	253	37.3
26年6月期第2四半期	3,951	45.0	354	42.3	350	46.2	184	35.6

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 255百万円( 37.9%) 26年6月期第2四半期 185百万円( 35.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	53.96	—
26年6月期第2四半期	39.31	—

(注) 平成25年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第2四半期	4,946	2,589	52.4
26年6月期	5,537	2,460	44.4

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 2,589百万円 26年6月期 2,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	27.00	27.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想 (平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	13.2	760	△30.2	750	△30.5	435	△30.2	92.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	4,694,000株	26年6月期	4,694,000株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	227株	26年6月期	202株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	4,693,779株	26年6月期2Q	4,693,798株

(注) 平成25年11月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、消費税率引上げの反動で需要の落ち込みが長期化していることや、円安基調が原材料価格の高騰による純輸出への効果を減少させているなど先行き停滞感を増す懸念材料はあるものの、経済・金融政策の効果に支えられ企業業績や雇用情勢の改善等、緩やかな回復基調で推移しております。

ソフトウェア・情報サービス業界におきましても、受注競争は依然厳しいものの、企業収益の改善・設備投資の回復に伴い、競争力強化に向けたクラウドやビッグデータ等のITサービスへは積極的な投資も増加しつつあります。

当社グループは、わが国を代表する数々の企業グループをお客様に持ち、そうしたお客様の継続的な企業価値向上に寄与するために、例えば、①企業グループ内の会計方針の統一を可能とするソリューション②企業グループ内のERP導入支援及びBI分野でのサービス提供③企業グループの連結決算・納税業務を一括して引受けるアウトソーシング・サービスなど、業務効率の改善に資する専門性の高い業務ソフトウェアや、企業グループ内に蓄積された情報の有効活用に役立つサービスを提供しております。

当第2四半期においては、前年度に獲得した大型案件や企業グループ内ERPの導入支援でコンサルティング・サービスへの需要が増加した他、アウトソーシング・サービスも伸張いたしました。また、前四半期に引続き当社グループの既存事業の基盤を強化し、更に今後の成長に不可欠な人財やITへの支出を行ってきた一方、前四半期における収益性低下の主要因となった不採算プロジェクトが収束し、新事務所開設やERP製品用の会計テンプレート開発に伴う一時的費用の発生もなくなったことから、収益性は改善いたしました。

この結果、当第2四半期の連結業績は、売上高4,194,636千円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益400,859千円（前年同四半期比13.0%増）、経常利益396,377千円（前年同四半期比13.2%増）、当四半期純利益253,266千円（前年同四半期比37.3%増）となりました。

事業形態別の売上高の状況は以下のとおりです。

#### <ライセンス販売>

決算早期化やグループ経営管理の高度化などのニーズを捉えた提案に努めておりますが、大型案件が前期に比べ減少しており、ライセンスの売上高は327,549千円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

#### <コンサルティング・サービス>

不採算案件の対応に人員を追加投入したため、対前年同期に比べ売上高が大幅に減少した子会社がありましたが、他3社は堅調な需要に支えられて売上高も前年同期を上回ることとなり、この結果、グループ全体としてのコンサルティング・サービスの売上高は2,476,618千円（前年同四半期比7.7%増）と前年同四半期に比べ243,048千円の増収になりました。

#### <サポート・サービス>

サポート・サービスの売上高の1,264,936千円（前年同四半期比11.4%増）の8割以上は、主力製品であるDivaSystemの保守料と同製品を活用してお客様への連結決算業務等のアウトソーシング・サービスの提供による収入からもたらされています。継続的なバージョンアップによる製品機能の強化に加え、お客様からの様々なご質問や支援のご要請に迅速に対応して行くことを通じて顧客満足度の向上を図っており、その結果、保守料収入は高い継続利用率に支えられ堅調に増加推移して来ております。また、アウトソーシング・サービスも継続的な営業努力が実り、大手のお客様からの引合いも増加しております。

#### <情報検索サービス>

検索機能の継続的な強化・拡張により顧客基盤は安定的に推移しております。特定顧客向けに開示情報を利用したレポートを作成するスポットの売上が発生したこともあり、情報検索サービスの売上高は125,531千円（前年同四半期比3.5%増）となりました。

なお、当第2四半期の受注及び販売の状況は、次のとおりとなっております。

① 受注状況

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期		当第2四半期		増減	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
ライセンス販売	395,835	—	327,549	—	△ 68,286	—
コンサルティング・サービス	2,497,645	952,372	2,722,129	979,628	224,483	27,256
サポート・サービス	1,005,942	712,065	1,132,304	755,884	126,362	43,818
情報検索サービス	128,430	61,398	131,573	61,142	3,143	△ 255
合計	4,027,854	1,725,836	4,313,556	1,796,655	285,702	70,819

② 販売実績

(単位:千円 [単位未満切捨て])

	前年同四半期	当第2四半期	増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
ライセンス販売	395,835	327,549	△ 68,286	△17.3
コンサルティング・サービス	2,299,354	2,476,618	177,264	7.7
サポート・サービス	1,135,055	1,264,936	129,881	11.4
情報検索サービス	121,342	125,531	4,188	3.5
合計	3,951,587	4,194,636	243,048	6.2

(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は、4,946,295千円（前連結会計年度末比591,202千円減少）となりました。これは主に、賞与や法人税等の支払いによる現金及び預金の減少954,978千円と、大型案件の検収による受取手形及び売掛金の増加426,830千円等により流動資産が554,679千円減少したことに加え、のれんの減少56,550千円、IT投資によるソフトウェアの増加13,359千円等により固定資産が35,890千円減少したことによるものです。

一方、負債合計は2,356,408千円（前連結会計年度末比720,352千円減少）となりました。これは主に賞与引当金の減少191,672千円、未払法人税等の減少199,130千円、並びに前受収益の減少136,750千円等により流動負債が636,700千円減少したことに加え、長期借入金の約定返済61,230千円等により固定負債が83,652千円減少したことによるものです。

また、純資産合計は四半期純利益253,266千円の計上と剰余金の配当126,732千円の支払いにより、2,589,886千円（前連結会計年度末比129,149千円増加）となりました。この結果、自己資本比率は52.4%（前連結会計年度末は44.4%）と、50%台に回復しており安定的な財務バランスを保っているものと考えております。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ954,978千円減少し、1,850,533千円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、618,330千円となりました。（前年同四半期は135,805千円の使用）

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益396,377千円、減価償却費66,154千円等であり、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額191,672千円や法人税等の支払額287,533千円などの季節性資金の支出と、売上高増加に伴う売上債権の増加額425,460千円や保守サービスの売上高計上に見合う前受収益の減少額136,750千円等、通常の事業活動で生じる増加運転資金であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は123,132千円となりました。（前年同四半期は119,480千円の使用）

支出の内訳は、子会社の事務所移転と新規事務所開設に伴う有形固定資産の取得による支出92,038千円、ソフトウェア投資に伴う無形固定資産の取得による支出25,589千円等であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は215,456千円となりました。（前年同四半期は34,718千円の使用）

支出の主な内訳は、配当金の支払126,732千円と長期借入金の約定返済54,530千円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績につきましては、平成26年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

第3四半期以降には大型案件の受注が幾つか見込まれてはいるものの、①他社との競争の結果次第という案件もあること②お客様の事情により案件の規模が縮小ないしは開始の時期が遅れることなども想定されます。また、当第2四半期中に採用した社員の人件費がフルに計上されて参ります。これらの諸点を考えますに、現時点におきまます通期の業績予想は、平成26年8月8日に公表致しましたものから変更の必要はないと判断しております。

※ 上記は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,805,512	1,850,533
受取手形及び売掛金	1,217,909	1,644,740
仕掛品	109,907	143,903
原材料及び貯蔵品	1,730	-
繰延税金資産	188,418	103,576
その他	175,302	207,081
貸倒引当金	△762	△6,496
流動資産合計	4,498,018	3,943,338
固定資産		
有形固定資産	254,045	249,241
無形固定資産		
のれん	367,575	311,025
ソフトウェア	37,271	50,630
その他	973	954
無形固定資産合計	405,819	362,609
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
敷金及び保証金	318,565	324,070
繰延税金資産	34,990	41,609
その他	19,265	19,265
投資その他の資産合計	377,822	389,945
固定資産合計	1,037,687	1,001,796
繰延資産		
社債発行費	1,792	1,159
繰延資産合計	1,792	1,159
資産合計	5,537,498	4,946,295

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	255,790	304,742
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	122,460	129,160
リース債務	2,497	3,474
未払金及び未払費用	225,467	188,952
未払法人税等	263,613	64,483
前受収益	1,020,456	883,705
賞与引当金	397,328	205,655
役員賞与引当金	70,604	2,028
役員退職慰労引当金	3,000	-
受注損失引当金	-	2,808
資産除去債務	7,811	-
その他	230,248	177,568
流動負債合計	2,659,279	2,022,579
固定負債		
社債	30,000	-
長期借入金	273,750	212,520
リース債務	4,320	8,013
繰延税金負債	186	163
資産除去債務	109,224	113,131
固定負債合計	417,481	333,829
負債合計	3,076,760	2,356,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	288,400	288,400
資本剰余金	225,200	225,200
利益剰余金	1,947,025	2,073,559
自己株式	△92	△127
株主資本合計	2,460,532	2,587,031
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	24	46
為替換算調整勘定	180	2,808
その他の包括利益累計額合計	204	2,855
純資産合計	2,460,737	2,589,886
負債純資産合計	5,537,498	4,946,295

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,951,587	4,194,636
売上原価	2,222,301	2,388,761
売上総利益	1,729,285	1,805,874
販売費及び一般管理費	1,374,437	1,405,015
営業利益	354,848	400,859
営業外収益		
受取利息	300	229
還付加算金	-	1,070
その他	7	149
営業外収益合計	308	1,450
営業外費用		
支払利息	4,043	2,833
支払手数料	203	1,696
その他	698	1,401
営業外費用合計	4,945	5,931
経常利益	350,210	396,377
税金等調整前四半期純利益	350,210	396,377
法人税、住民税及び事業税	174,072	64,885
法人税等調整額	△8,372	78,225
法人税等合計	165,700	143,110
少数株主損益調整前四半期純利益	184,510	253,266
四半期純利益	184,510	253,266

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	184,510	253,266
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	25	22
為替換算調整勘定	988	2,627
その他の包括利益合計	1,013	2,650
四半期包括利益	185,524	255,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,524	255,916
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	350,210	396,377
減価償却費	42,157	66,154
社債発行費償却	632	632
のれん償却額	56,550	56,550
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	5,734
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△35,819	2,808
賞与引当金の増減額(△は減少)	57,621	△191,672
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,705	△68,576
受取利息及び受取配当金	△300	△229
支払利息	4,043	2,833
支払手数料	203	1,696
売上債権の増減額(△は増加)	△216,907	△425,460
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,558	△32,265
仕入債務の増減額(△は減少)	59,430	48,952
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	34,432	2,350
前受収益の増減額(△は減少)	△132,799	△136,750
その他	△68,332	△57,551
小計	103,858	△328,417
利息及び配当金の受取額	208	229
利息の支払額	△4,182	△2,608
法人税等の支払額	△235,690	△287,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	△135,805	△618,330
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△19,161	△92,038
無形固定資産の取得による支出	△21,895	△25,589
敷金及び保証金の差入による支出	△78,422	△5,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	△119,480	△123,132
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	150,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△61,230	△54,530
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,244	△1,657
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
支払手数料の支出	-	△2,501
自己株式の取得による支出	-	△35
配当金の支払額	△42,244	△126,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△34,718	△215,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	987	1,941
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△289,016	△954,978
現金及び現金同等物の期首残高	2,244,406	2,805,512
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,955,389	1,850,533

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。